

ともに過ごした仲間との送別会



中学生海外派遣

レッドクリフ高校の生徒といっしょに



小学校では日本語教師に挑戦しました



帰国報告

オーストラリア・レッドクリフ市でホームステイしました

今年で16回目となる「中学生海外派遣事業」。今回も6人の中学生と随行者計7人が姉妹都市オーストラリア・レッドクリフ市へ交流大使として派遣され、2週間のホームステイを体験しました。言語も文化も習慣も違う土地での生活に派遣生には緊張もあったようですが、あっという間にうち解け、かけがえのない2週間となったようです。【担当】 市民活動推進課 (☎ 82-1134)



景色を楽しみながらの通学風景



本当の家族のようなホストファミリー



日本の遊び“おりがみ”を披露しました



たけうち みずき
竹内 瑞貴

(高千帆中学校3年)

I'll never forget this summer! ~この夏を決して忘れない~

私は本当にオーストラリアへ行くのを楽しみにしていました。行く前、少し緊張はあったけど、不安はあまりありませんでした。オーストラリアに着いたらレッドクリフ市の方やホストファミリーの方が笑顔で迎えてくださって、ここで2週間生活できるのは嬉しいなと思いました。私のホームステイでの目標は、ホストファミリーや友達に積極的に話しかけることと、日本の遊びを伝えてそれを通してオーストラリアの人と仲良くなることでした。向こうに着いて2、3日

間はなかなか自分から話しかけることは出来なかったけど、向こうの人がとても積極的に話しかけてくれたり、福島さん(随行者)にアドバイスをもらったりして自分から辞書を片手に話しかけられるようになりました。学校は授業も全て英語で全然わからなかったけど、耳が慣れてくると単語だけは聞き取れるようになっていくのが自分でわかってとても嬉しかったです。週末にはホストファミリーに色々な所に連れて行ってもらったり、エッカという大きな祭りに行ったり、学校から帰ったらホストファミリーと遊んだり、オーストラリアにいた時間すべてが楽しかったし勉強になりました。文化の違いを自分の目で見て感じることも出来たので本当によかったです。そしてもっと英語を勉強して、またレッドクリフに行きたいなと思いました。

今回の海外派遣は小野田青年会議所をはじめいろいろな方の寄附で実現し、わたしたちはオーストラリアに行って良い友達、思い出をつくる事が出来ました。ありがとうございました。